



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

令和7年4月入学

大学院工学研究科 5年一貫制博士課程  
第3年次編入学 学生募集要項  
【技術科学イノベーション専攻】

〔 社会人入試 〕

入学時期	出願期間	入試期日
第1回募集	令和6年5月27日(月) ~5月30日(木)	令和6年7月2日(火)
第2回募集	令和6年8月16日(金) ~8月21日(水)	令和6年9月11日(水)
第3回募集	令和7年1月20日(月) ~1月23日(木)	令和7年2月3日(月)

(第3回募集については、第2回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。)

# 目 次

工学研究科 5 年一貫制博士課程入学者受入方針	-----	1
-------------------------	-------	---

技術科学イノベーション専攻入学者受入方針	-----	1
----------------------	-------	---

1 募集人員等	-----	2
2 出願資格	-----	2
3 出願手続	-----	3
4 入試方法	-----	6
5 入試の日時及び場所	-----	6
6 合格者の発表	-----	6
7 入学手続等	-----	6
8 個人情報の取り扱いについて	-----	7
9 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について	-----	7
10 卓越大学院プログラムについて	-----	7
11 その他	-----	7
試験場への交通案内	-----	8
入学志願票等 記入上の注意	-----	9
社会人学生のための教育方法の特例について	-----	10

## 出願書類

- 1 入学志願票
- 2 検定料振込済証明書貼付票
- 3 検定料振込依頼書
- 4 志望調書
- 5 推薦書
- 6 出願資格認定審査調書
- 7 研究歴証明書
- 8 社会人入試による特例措置希望書
- 9 推薦書（特例措置希望者用）

## 出願先、問い合わせ先

〒940-2188  
新潟県長岡市上富岡町 1603-1  
長岡技術科学大学 入試課 入学試験第 1 係  
TEL 0258 (47) 9271・9273 FAX 0258 (47) 9070  
e-mail: nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

## 工学研究科5年一貫制博士課程入学者受入方針(アドミッションポリシー)

### 【求める学生像】

長岡技術科学大学は、活力 (Vitality)、独創力 (Originality) 及び世のための奉仕 (Services) を重んじるVOSの精神をモットーとして、実践的・創造的能力を備え国際的に通用する指導的技術者・研究者を養成することを目的に、学部から大学院までの一貫教育を行っており、次のような学生を広く求めます。

- 1 技術や科学をより深く研究する意欲をもつ人
- 2 新しい分野の開拓や理論の創出、もの作りに意欲をもつ人
- 3 国際的視野と感覚をもち、世界的研究を目指す人
- 4 独自の優れた個性を発揮する意欲をもつ人
- 5 独創的研究に取り組む意欲をもつ人
- 6 人間性が豊かで、人類の幸福に貢献しようとする意識をもつ人

### 【入学者選抜の基本方針】

志願者を広く募集し、複数の受験機会を提供するため、学内進学者選抜(推薦・学力)のほか、一般入試(外国人留学生を含む)及び高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試を実施します。

これらの選抜では、本学の基本理念、教育目標を理解し、求める学生像に見合う学生を選抜するため、口述試験、面接及び書類審査を組み合わせ、志願者の能力や資質を多面的かつ総合的に評価します。

## 技術科学イノベーション専攻入学者受入方針(アドミッションポリシー)

本専攻では次のような学生を広く求めます。

- 1 技術科学イノベーション分野の学修・研究に強い関心があり、グローバルに活躍してイノベーションを起こす能力や世界の産業を牽引する力を涵養し、その発展に貢献する意欲がある人
- 2 機械・電気・材料・建設・生物等の専門分野の高度な研究能力を身に付けた上で複眼的な視野に立ち、技術科学に関する実践的かつ異分野融合的な能力を修得したい人
- 3 先見的な視野を有し、ビジネスマインドと倫理観を兼備することを目指す人
- 4 研究、事業推進及び情報発信に資する英語力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力、研究企画立案力、及びビジネス展開に必要な基礎知識を修得したい人
- 5 研究課題に対して科学的な手法によってその本質を見抜き、真にイノベティブな解決手段を導く能力を修得したい人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

各大学、高等専門学校専攻科等が定める教育課程に従い、本専攻で学修・研究を進めるための英語力、及び基礎学力と応用力が必要です。

# 大学院工学研究科 5年一貫制博士課程 第3年次編入学 学生募集要項〔社会人入試〕

試験日程や入試方法等が変更となる可能性があります。変更する場合は、速やかに本学ホームページ (<https://www.nagaokaut.ac.jp/>) に掲載します。

## 1. 募集人員等

### (1) 募集人員

第1回募集 若干人 第2回募集 若干人 第3回募集 若干人

(注) 第3回募集は第2回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。第3回募集に出願を希望する場合は、事前に入試課入学試験第1係に第3回募集の実施の有無を確認してください。(本学ホームページにも掲載します。)

### (2) 社会人入試(第3年次編入学)について

本選抜による第3年次編入学者は、卓越大学院プログラム「グローバル超実践ルートテクノロジープログラム」に参加することが前提になります。卓越大学院プログラムについては7ページ「10. 卓越大学院プログラムについて」を参照してください。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第14条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。(詳細は10ページを参照してください。)

## 2. 出願資格

- (1) 下記①～⑥の者で、令和7年3月31日において、企業等で2年以上職員として勤務経験があり、現在在職中の者
  - ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
  - ② 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
  - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
  - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
  - ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
  - ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和7年3月までに認められる見込みの者
- (2) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所、その他の研究開発のための施設において、2年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日において、企業等で4年以上職員として勤務経験があり、現在在職中の者
- (3) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、26歳に達した者及び令和7年3月31日までに26歳に達する者で、企業等で4年以上職員として勤務経験があり、現在在職中の者

(注) 上記出願資格(2)及び(3)に該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。次の書類を、下記の期日までに提出してください。

第1回募集出願希望：令和6年4月26日(金)  
第2回募集出願希望：令和6年7月1日(月)  
第3回募集出願希望：令和6年12月6日(金)

出願資格審査は、提出された書類等を基に修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、第1回募集は5月10日(金)、第2回募集は7月16日(火)、第3回募集は12月20日(金)以降に大学から発送します。

審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

- ・出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- ・研究歴証明書(本学所定の用紙により、大学等研究機関の長又は所属長が作成したもの)
- ・研究成果報告書(1,000字以内)
- ・学習歴(卒業証明書及び成績証明書等)、実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)

※なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求められることがあります。

### 3. 出願手続

#### (1) 出願期間

第1回募集：令和6年5月27日(月)～令和6年5月30日(木)〔期間内必着〕

第2回募集：令和6年8月16日(金)～令和6年8月21日(水)〔期間内必着〕

第3回募集：令和7年1月20日(月)～令和7年1月23日(木)〔期間内必着〕

(注1) 第3回募集は第2回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。第3回募集に出願を希望する場合は、事前に入試課入学試験第1係に第3回募集の実施の有無を確認してください。

(注2) 本学では、平成30年4月1日以降に発生した激甚災害(激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律(昭和37年9月6日法律第150号)に基づき認定された災害をいいます。)の被災者に対する特例措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。

この制度により検定料免除を希望する場合は、次の要件を確認し、検定料を支払う前に入試課入学試験第1係(電話0258-47-9271、9273)に連絡のうえ、申請手続きの指示を受けてください。

#### 【要件】

出願者又は出願者の学資を主として負担している者が激甚災害の被災地域に居住し、かつ、その者が居住する家屋が当該激甚災害により次のいずれかに該当する被害を受けた場合

- ・全壊(全焼、家屋流失を含む)
- ・半壊又は大規模半壊(半焼を含む)

#### 【申請に必要な書類】

- ・検定料免除申請書(本学所定の様式)
- ・り災証明書(出願期間までにり災証明書を手に入れない場合は、入試課入学試験第1係に相談してください。)

## (2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等		摘 要
1	入学志願票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽（縦 40mm×横 30mm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2	検定料振込済証明書貼付票	検定料振込済証明書を貼り付けてください。
3	検定料（本学所定の検定料振込依頼書により振込）	<b>30,000 円</b> 金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる 3 週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので大切に保管してください。 ※ 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、4 ページの「（注 5）海外からの検定料の振込」を参照してください。
4	成績証明書（大学・学部用）	当該大学の所定のもので厳封したもの
5	成績証明書（大学院修士課程又は専門職学位課程用）	当該大学の所定のもので厳封したもの
6	修士（専門職学位）課程修了（見込）証明書 又は 修士学位取得（見込）証明書	当該大学の所定のもの
7	修士論文等	（ア）修士論文又はこれに代わる論文（写）及び論文要旨。 ただし、修士課程修了見込者は、修士論文課題と研究の進行状況についての研究経過報告書（様式任意） 専門職学位取得（見込）者については、在学中に本人が行った研究内容の概要（様式任意）。 （イ）上記以外に研究発表等の資料があれば、提出してください。
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	在職証明書	所属長が証明した在職証明書（様式任意）又はそれに代わるもの ※ 在職期間が明記されていない場合は、勤務経験を確認できる書類を添付してください。
10	業績報告書（様式任意）	次のとおり、本人が作成したもの 「在職中に本人が行った業務内容の概要（1,000 字以内、関係資料がある場合は添付のこと）。その他本人の業績を表す文書の写し（論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）。」
11	推薦書	本学所定の用紙により、所属長又は所属部署の責任者が作成し、厳封したもの
12	特例措置希望書	<b>（教育方法の特例措置希望者のみ）</b> 指導予定教員の合意を得た上で提出してください。詳細は、10 ページを参照してください。

13	推薦書（特例措置希望者用）	<b>（教育方法の特例措置希望者のみ）</b> 本学所定の用紙により、所属長が作成したもの
----	---------------	--

- (注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。  
 また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。
- (注2) これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。（その他の言語による場合は、訳文を添付。）
- (注3) 証明書は、必ず原本を提出してください。外国の証明書で原本を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたコピーを提出してください。
- (注4) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
  - ② 出願が受理されなかった場合
  - ③ 検定料等を誤って二重に振り込んだ場合
  - ④ 出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」（本学所定の書式）を入手してください。（窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。）

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

送付先（担当）：〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1  
 長岡技術科学大学財務課経理係

TEL: 0258-47-9215 FAX: 0258-47-9040

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

(注5) 海外からの検定料の振込

海外から検定料を振り込む場合は、次のとおりとしてください。

- ① 検定料 30,000円
- ② 振込先銀行 みずほ銀行（銀行番号0001）  
 新潟支店（支店番号 400）  
 口座番号 普通預金 1717958  
 口座名義 長岡技術科学大学
- ③ 検定料の振込方法 **（銀行振込の際にかかる手数料は、すべて出願者の負担です。）**

送金種類: 電信送金

振込方法: 通知払い

振込銀行手数料: 依頼人負担

なお、振込み（入金）処理をする際には、以下事項に留意してください。

- (a) 外国送金をする際には、**必ず手数料は依頼人（出願者）負担**と指定して送金してください。現地の金融機関での手数料のほかに経由する国や日本に到着してからも手数料が発生しますのですべての手数料を負担してください。（詳しくは現地の金融機関に確認してください。）
- (b) 「検定料振込済証明書」の代わりに「振込領収書の写し」を出願書類に添付してください。（※ 払込人と出願者は、同一の名前であること。）

### (3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形 2 号 (330mm×240mm) の封筒により、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に「5 年一貫制博士課程（第 3 年次編入学）出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ必ず出願期間内に着くようにしてください。

出願書類 宛先	
〒940-2188	新潟県長岡市上富岡町 1603-1
	長岡技術科学大学 入試課
電話	0258-47-9271・9273
FAX	0258-47-9070

持参の場合：出願期間内の平日の 9 時から 17 時までの間に持参してください。

### (4) 受験票の発送について

提出された出願書類等に不備がなく、出願書類を受理したときは、入学志願票に記載されたメールアドレス宛に「受験票」等のダウンロードサイトの URL を記載したメールを送信します。試験期日の 1 週間前までにメールが届かない場合は、本学入試課に遅滞なく問合せ、確認してください。

## 4. 入試方法

書類審査及び面接の各結果を総合して行います。面接では、志望調書に記載した内容に基づいて、プレゼンテーション（発表時間：約 10 分）をしていただきます。

なお、海外在住者においては、本学大学院の判断により、面接を本学で実施せず、遠隔通信手段を利用し、実施する場合があります。

## 5. 入試の日時及び場所

第 1 回募集	令和 6 年 7 月 2 日（火）10:00～	長岡技術科学大学
第 2 回募集	令和 6 年 9 月 11 日（水）10:00～	長岡技術科学大学
第 3 回募集	令和 7 年 2 月 3 日（月）10:00～	長岡技術科学大学

## 6. 合格者の発表

第 1 回募集	令和 6 年 7 月 18 日（木）午前 10 時
第 2 回募集	令和 6 年 10 月 10 日（木）午前 10 時
第 3 回募集	令和 7 年 2 月 20 日（木）午前 10 時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格発表後、合格者の受験番号を本学のホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp/>）にも掲載します。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による合否の照会には、一切応じません。）

## 7. 入学手続等

### (1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書等）」の提出をすることとなります。

### (2) 納入経費

技術科学イノベーション専攻入学者は全員、原則として入学金及び授業料は全額免除となります。授業料が免除されるのは、原則として大学院 5 年一貫制博士課程（第 3 年次編入学）に入学してから 3 年間です。3 年を超える場合は、授業料を納めることとなります。



## 8. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ①入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項
- ②入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

## 9. 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について

身体に障がい等があり、受験上や修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始日の2週間前までに入試課入学試験第1係に相談してください。

## 10. 卓越大学院プログラムについて

技術科学イノベーション専攻の中に設置した卓越大学院プログラム※「グローバル超実践ルートテクノロジープログラム」(以下「本プログラム」という。)は、産業界、海外連携拠点と連携し、SDGsの解決に資する「材料科学」と「電気工学(具体的には制御工学とパワーエレクトロニクス)」をコアとしたすべての産業の根幹をなす「ルートテクノロジー」の知のプロフェッショナルを養成することを目的としています。そして、社会人向けに第3年次編入学を可能とし、自身の実務経験と組み合わせることで、未来の産業界をリードする実践的で高度な研究者・技術者を育てる新しいリカレント教育の場を提供しています。

本プログラムについて、詳しくは本学ホームページ (<https://www.nagaokaut.ac.jp/j/wise/>) をご覧ください。

※ 文部科学省の「卓越大学院プログラム」は、「世界の学術研究を牽引する研究者」、「イノベーションをリードする企業人」、「新たな知の社会実装を主導する起業家」、「国内外のパブリックセクターで政策立案をリードする人材」等、それぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材を育成し、またその交流によって新たな共同研究が持続的に展開される拠点を創出することで、大学院全体の改革を推進することを目的とし、海外トップ大学や民間企業等の外部機関と組織的な連携を図り、世界最高水準の教育・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築するものです。

## 11. その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しない場合がありますので、十分注意してください。
- (2) 出願等に関して不明な点があるときは、入試課入学試験第1係まで問い合わせてください。
- (3) 技術科学イノベーション専攻生が他の専攻に転専攻する場合において、大学院入学時に入学料を納めていない場合は、転専攻時に入学料を徴収します。

## 試験場への交通案内

### 〔路線バス〕

J R長岡駅 大手口の越後交通バス7番線乗場から乗車

技大前経由 県立歴史博物館線

技大前経由 ニュータウンセンター線

技大前経由 長岡崇徳大学東口線

(長岡駅 = 大手大橋 = 希望が丘 = 新産センター = 長峰団地 = 技大前 = 県立歴史博物館  
= ニュータウンセンター)  
= 長岡崇徳大学東口)

所要時間 約30分「技大前」下車

### 〔タクシー〕

J R長岡駅で下車 駅大手口から乗車 所要時間 約20分

(距離は約8.5km)

### 長岡技術科学大学行き定期バス乗場案内



# 入学志願票等 記入上の注意

## ◎全般について

- 1 記入には、黒色ボールペンを用い、文字は楷書で丁寧に書いてください。  
※筆記した文字等を容易に消すことができるボールペンは使用しないでください。
- 2 太線のわく内のみ、記入してください。なお、該当する事項の□にチェック（✓）を入れ、写真を所定欄に貼り付けてください。
- 3 数字は、算用数字を用いてください。
- 4 出願書類の様式は変更しないでください。
- 5 出願後は、記載事項の変更を認めません。
- 6 入学志願票に、事実を隠したり、偽りを書いたりすると、入学許可を取り消すことがあります。

## ◎各欄の記入について

### ①募集区分

募集区分のいずれかの□にチェック（✓）を入れください。

### ②「氏名等」

志願者本人の氏名、生年月日を記入し、男・女いずれかにチェックを入れてください。  
氏名は、通称・略字などを使用せず、必ず戸籍のとおりに記入してください。

### ③「出願資格」

出身学校（大学院）、学部（研究科）、学科（専攻）名及び卒業・修了（見込）年月などの該当事項を記入し、該当のものにチェックを入れてください。

個別の出願資格審査の認定者は「出願資格認定」にチェックを入れてください。

### ④「受験のための連絡場所」

出願時から入学決定時まで、最も迅速、確実に受信できる場所、電話番号及びメールアドレスを記入してください。

なお、出願後、変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

### ⑤「志望する指導教員」

志望指導教員と事前に相談のうえ、必ず記入してください。

### ⑥「修士論文題目」

修士論文又はこれに代わる論文の題目を記入してください。

### ⑦「履歴」

大学卒業時からの学歴及び職歴を記入してください。

なお、元号は該当するものを○で囲んでください。

## ◎検定料振込済証明書貼付票

検定料を本学所定の検定料振込依頼書で振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。

## 社会人学生のための教育方法の特例について

本学では、企業等に在職のまま入学を希望する社会人に対して、昭和 58 年度から特別選抜試験を実施し、社会人のブラッシュアップ教育の推進に努力しているところです。

しかしながら、3 年間の修学期間中、勤務を離れ、学業に専念することが必要となるため、大学院教育を受ける機会は制約されがちです。

このような社会人に対して、本学では、平成 8 年度から、大学院設置基準第 14 条の「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を行う等適切な方法により教育を行うことができる」という規程を適用して、教育方法の特例を実施しています。

この教育方法の特例を受けられる者は、社会人入試に出願し、合格した者に限られます。

1. 教育方法の特例による履修方法は、次のとおりです。

- (1) **指導教員の合意を得て**、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。その時間帯は、原則として、平日は夜間の 18 時から 21 時 10 分までの間、土曜日は 8 時 50 分から 16 時 10 分までの間を予定しています。
- (2) 学位論文の作成が進展しており、企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを用いた方が成果が上がると指導教員が認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。

2. この教育方法の特例を希望するときは、必ず出願前に下記まで連絡してください。

なお、入学時に指導教員のもとで、特例措置も含めた履修計画を作成します。

担 当	学務課 教務係
電 話	0258-47-9246、9248
e-mail	kyomu-kakari@jcom.nagaokaut.ac.jp